

希少がん対策ワーキンググループ第4回神経内分泌腫瘍分科会

日 時： 令和2年10月20日 17時-19時

開催形式： Web 会議

プログラム：

1. 分科会長挨拶 獨協医科大学 青木 琢
2. 課題検討
 - 患者からアクセスしやすい情報発信（NEN 専門施設情報公開項目・要件）

配布資料：

1. 出席者一覧
2. NEN 専門施設情報公開項目・要件（全施設共通・前回決定）
3. 2 階部分に関する案

患者からアクセスしやすい情報発信（全施設共通・前回決定）

【全施設共通】

・必須項目

- ① 院内がん登録に参加している。
- ② NEN 専門施設として WEB 上での情報公開へ同意がある。
- ③ 造影 CT および MRI が自施設で実施できる。
- ④ オクトレオスキャンが実施できる（他院との連携も可）。
- ⑤ PET 検査が実施できる（他院との連携も可）。
- ⑥ 下記診療科を有している。

：病理診断科/病理部（NEN の細胞・病理組織・分子診断を担当する診療科）、放射線科（NEN の放射線診断・治療を担当する診療科）、内科（NEN の内科的治療を担当する診療科：消化器内科、腫瘍内科など）、外科（NEN の外科的治療を担当する診療科：消化器外科など）

- ⑦ NEN の診断・治療に携わることのできる下記専門医が在籍している（原則として常勤）。

：病理専門医、放射線科専門医、がん薬物療法専門医、消化器内視鏡学会専門医、消化器病専門医、消化器外科専門医

*機能性 NEN の診断治療が行える内分泌代謝内科専門医が勤務している、又は、内分泌代謝内科専門医と密接な連携がとれることが望ましい。

- ⑧ 自施設の病理医が診断に難渋する場合、国立がん研究センター病理診断コンサルテーションシステムに提出する事が可能である。

- ⑨ 複数科の医師・多職種が参加するカンファレンス（tumor board, cancer board など）の開催があり、NEN の診断・治療方針を検討できる。

- ⑩ 2017-2019 年の 3 年間で、院内がん登録における消化管・膵 NEN の登録症例数が 30 例以上ある（治療の種類を問わず、他院診断症例や他院で加療を開始され治療継続・変更した症例も含める）。

*各地域・都道府県の現状を考慮し 30 例に満たない場合でも許容する場合がある。

- ⑪ 2017-2019 年の 3 年間で、NEN に関する論文発表あるいは学会発表を行っている（多施設共同研究を含む・共著でよい）。

・公開項目（必須項目とはしない）

- ・ JNETS 患者悉皆登録研究への参加有無。

資料 3

希少がん対策ワーキンググループ 神経内分泌腫瘍分科会

2 階建て部分について前回までの議論にて共同見解となった前提：

- ・「消化管」「膵および NEN 肝転移」の 2 つの構成
- ・基準を設けるのではなく、経験数を実数入力していただく
- ・専門医数などは 1 階で規定したので項目には含めない

2 階部分の項目案：消化管

1. 消化管 NEN の症例数（院内がん登録より確認可能）
2. 消化管 NEN に対する薬物療法件数
3. 消化管 NEN に対する手術件数
4. 消化管 NEN に対する内視鏡治療件数（上部内視鏡、下部内視鏡）
5. 消化管悪性腫瘍に対する手術件数
6. 消化管悪性腫瘍に対する内視鏡治療件数（上部内視鏡、下部内視鏡）

2 階部分の項目案：膵・肝転移

1. 膵 NEN の症例数（院内がん登録より確認可能）
2. 膵 NEN に対する薬物療法件数
3. 膵 NEN に対する切除件数
うち：縮小手術件数
4. 肝転移 NEN の症例数
5. 肝転移 NEN に対する切除件数
6. 肝転移 NEN に対する TAE/TACE 件数
7. NEN に対する組織生検施行件数
うち：経皮的肝生検件数 / EUS-FNA 件数
8. 肝切除件数（NEN 以外も含む）
9. Local ablation 件数（NEN 以外も含む）
10. TAE/TACE 件数（NEN 以外も含む）
11. オクトレオスキャン施行件数

その他のご意見（1 階部分）

- ・1 階部分に NEN に対する年間セカンドオピニオン対応件数を含める。
- ・1 階部分に「PRRT を自施設もしくは連携による実施が可能」という条件を付追加する。

コメントの追加 [松木 明1]: この 2 つからなる構成について、患者にとってわかりづらいのではないかとのご意見がありましたが、如何でしょうか。

コメントの追加 [松木 明2]: 数名の先生方は〇〇例以上、といった基準をご提案いただきましたが、病院からの自己申告になってしまう以上、その数値によって事務局が基準を設けるより、実数入力にとどめる方が良いかと考えます。

コメントの追加 [松木 明3]: 日本 IVR 学会専門医や日本膵臓学会指導医等々の人数を項目に含めるとのご意見がありましたが、如何でしょうか。

コメントの追加 [松木 明4]: 症例数や件数については、何年単位となりますか。